

出雲市自転車活用推進計画の策定について

1. 計画策定の背景

自転車を取り巻く環境が変化する中、平成29年5月に「自転車活用推進法」が施行され、国や島根県においても自転車活用推進計画が策定されてきました。

本市においても、自動車依存からの脱却、山陰地方を代表する観光地の魅力向上など様々な効果が期待されることから、安全で快適に自転車を利用するための環境整備を目的とし、「出雲市自転車活用推進計画」を策定しましたので報告します。

2. 計画の期間

令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

3. 策定体制

学識経験者及び関係機関（観光関連・サイクリング事業、サイクリスト、交通管理者、道路管理者）から幅広く意見をうかがうことを目的に「出雲市自転車活用推進計画策定協議会」を設立しました。

協議会では、施策を実施する11の課も参画し、審議を行いました。

4. 計画の概要

別添「出雲市自転車活用推進計画（概要版）」参照

- ・ 計画策定の背景
- ・ 計画の位置付け
- ・ 自転車を取り巻く現状・環境
- ・ 基本方針と取組
- ・ 出雲市自転車ネットワーク計画
- ・ 計画のフォローアップ

出雲市自転車活用推進計画(概要版)

1. 計画策定の背景

(1)計画策定の背景

自転車は、子どもから高齢者まで手軽に利用できる移動手段であるとともに、近年は、健康志向による利用ニーズの高まり等により利用者が全国的に増え、自転車による観光地域づくりなど自転車利用に向けた取組も進められています。

一方、自転車による交通事故の割合は年々増加しており、自転車利用者のマナーも大きな問題となっています。

このような中、平成29年5月に「自転車活用推進法」が施行され、国や島根県においても自転車活用推進計画が策定されてきました。

本市においても、自動車依存からの脱却、山陰地方を代表する観光地の魅力度向上など様々な効果が期待されることから、「出雲市自転車活用推進計画」を策定し、誰もが安全で快適に自転車を利用できるための施策展開を図っていきます。

(2)計画の期間

本計画の期間は令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

2. 計画の位置付け

<国の法律・計画>

自転車活用推進法(平成29年5月施行)
自転車活用推進計画(令和3年5月閣議決定)

<島根県の計画>

島根県自転車活用推進計画(令和2年6月策定)

<出雲市の上位計画>

出雲市総合振興計画
「出雲新話2030」
出雲市都市計画マスタープラン
出雲市まち・ひと・しごと創生
「人口ビジョン」・「第2期総合戦略」

整合

整合

整合

出雲市自転車活用推進計画

連携

<出雲市の関連計画>

・出雲市観光基本計画
・出雲市景観計画
・出雲市地域公共交通計画
・出雲市通学路交通安全プログラム
・第2次幹線市道整備10か年計画

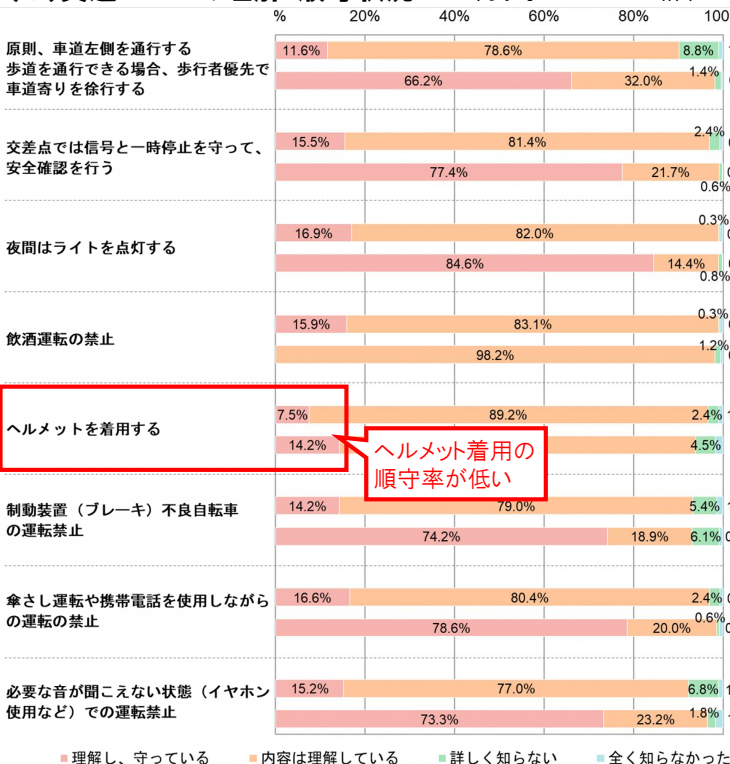
・出雲市環境総合計画(出雲市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】)
・出雲市健康のまちづくり基本計画
・第2期出雲市スポーツ推進計画

3. 自転車を取り巻く現状・環境

自転車活用推進計画の策定にあたり、統計データ等を整理、市民及び学生を対象としたアンケート調査を実施し、出雲市の自転車を取り巻く現状・環境把握を行いました。

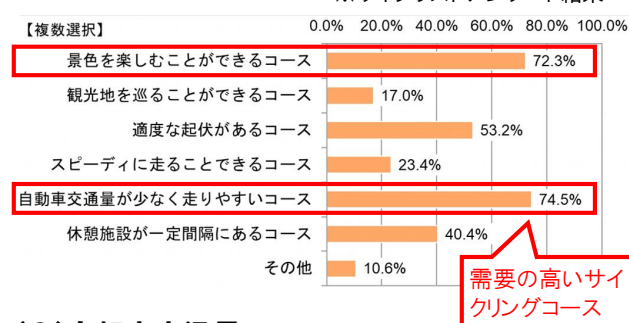
(1)交通ルールの理解・順守状況

※市民・学生アンケート結果



(2)サイクリングのコースに重要視すること

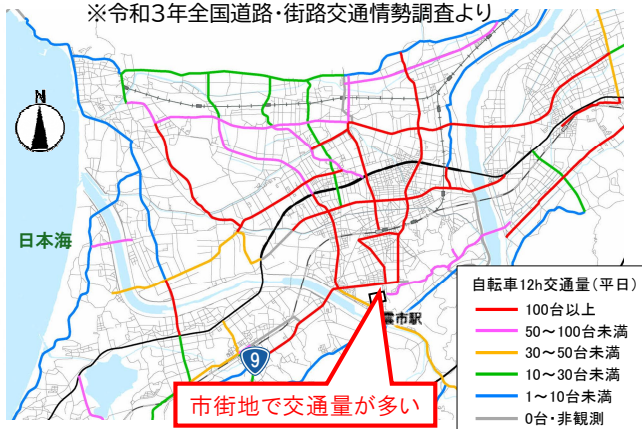
※サイクリストアンケート結果



需要の高いサイクリングコース

(3)自転車交通量

※令和3年全国道路・街路交通情勢調査より



出雲市自転車活用推進計画(概要版)

4. 基本方針と取組

出雲市の自転車を取り巻く現状・環境を踏まえ、自転車活用推進に向けた基本方針を設定しました。

(1) 出雲市の目指すべき将来像

誰もが笑顔で楽しく自転車利用ができる出雲路

(2) 自転車活用推進に向けた基本方針

快適で利用しやすい自転車環境まちづくり

- ・自転車・歩行者が快適に通行できる自転車走行空間の整備及びメンテナンスを行う。
- ・自転車走行空間のネットワーク化により、拠点間移動の利便性向上及び自転車利用路線の誘導を行う。
- ・利便性の高い駐輪場・レンタサイクルを整備し、潜在ニーズを掘り起こすとともに、自然環境に配慮したまちづくりを目指す。

サイクルツーリズムによる観光地域づくり

- ・観光二次交通として、また、新たな観光ツールとしての自転車利用を促進させる受入環境整備を行う。
- ・国内・国外の観光客やサイクリスト・一般観光客など様々なニーズに応じた自転車を活用した観光メニューを創出する。
- ・様々なターゲットに向けた情報発信を効率的・効果的に行う。

自転車利用による心身ともに健康な社会づくり

- ・通勤・通学時や買い物時における健康維持・増進を目的とした自転車利用の啓発活動を実施する。
- ・市民の自転車利用機会を創出し、自転車に親しむ環境を創る。

自転車事故のない安心・安全な暮らしづくり

- ・自転車利用者における低いヘルメット着用など交通ルールの徹底を図るため、各年代に応じた安全教育を実施する。
- ・自転車とクルマの共存を目指し、自動車ドライバーに対しても自転車への思いやりの意識・行動を醸成するための啓発活動を実施する。

(3) 目指すべき将来像に向けた取組

取組みの連携先と協力し進めます。

基本方針	取組	取組の連携先			
		道路 管理者	交通 管理者	NPO・ 団体	民間・ 市民
快適で利用しやすい 自転車環境まちづくり	①自転車走行空間の整備	○			
	②レンタサイクルの普及促進			○	○
	③道路パトロールにおける維持・管理	○			
	④放置自転車の撤去				
	⑤エコ通勤の推進				○
自転車利用による 心身ともに健康な社会づくり	⑥自転車を活用した健康づくりの推進			○	○
	⑦市民向けサイクリングイベントの実施			○	○
	⑧エコ通勤の推進(再掲)				○
サイクルツーリズムによる 観光地域づくり	⑨日本遺産と周辺環境を生かしたサイクリングルートの造成	○		○	
	⑩交通・観光拠点間の誘導案内	○			
	⑪ご縁サイクルステーションの充実			○	○
	⑫シェアサイクルを導入した周遊型観光の促進				○
	⑬サイクルトレインの取組支援				○
	⑭宿泊施設におけるサイクリストの受入環境の整備			○	○
	⑮SNSを活用した情報発信			○	
	⑯サイクリング観光による富裕層インバウンド誘致			○	
自転車事故のない 安心・安全な暮らしづくり	⑰自転車マナーアップモデル校の指定		○	○	
	⑱自転車安全リーダーの委嘱		○	○	
	⑲自転車教室の開催		○	○	
	⑳ヘルメット着用の啓発		○	○	
	㉑自転車利用のマナーアップ	○	○		

出雲市自転車活用推進計画(概要版)

5. 出雲市自転車ネットワーク計画

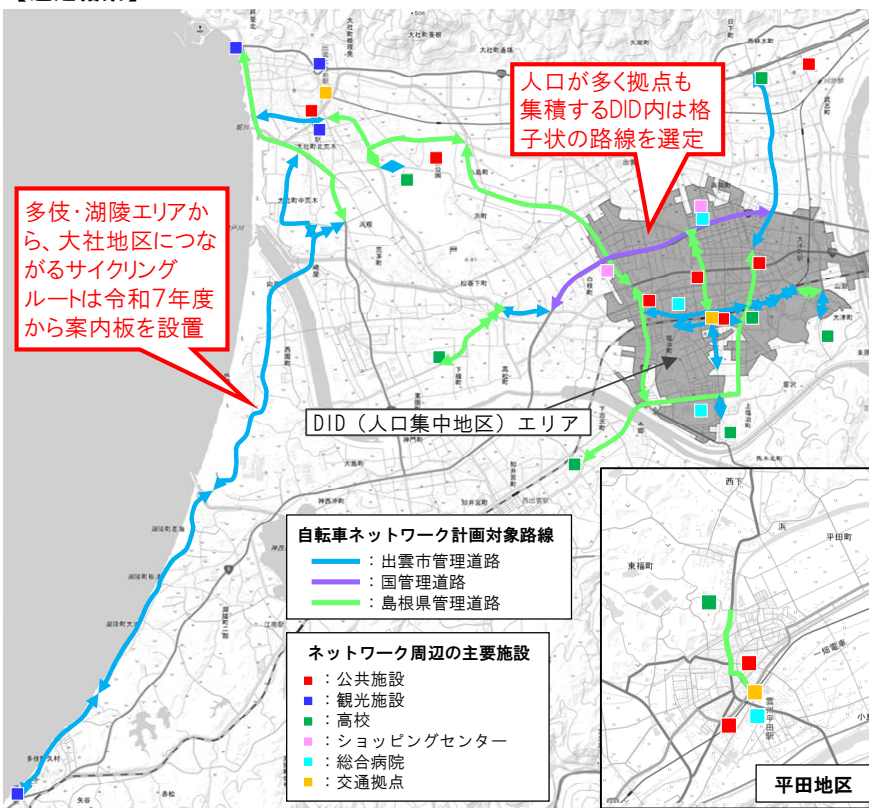
(1) 出雲市自転車ネットワーク計画対象路線の選定

安全で快適な自転車通行空間の効果的、効率的な整備を目的に「出雲市自転車ネットワーク計画」を策定しました。策定にあたり、自転車のニーズ等を踏まえて対象路線を選定を行いました。

【選定の考え方】

- ①公共施設や学校等の主要な施設を結ぶ路線
- ②自転車関連事故が多発している路線
- ③通学等による利用が多い路線
- ④自転車の利用を促進する路線
- ⑤自転車走行空間が整備済みの路線
- ⑥ネットワークの連続性を考慮した路線

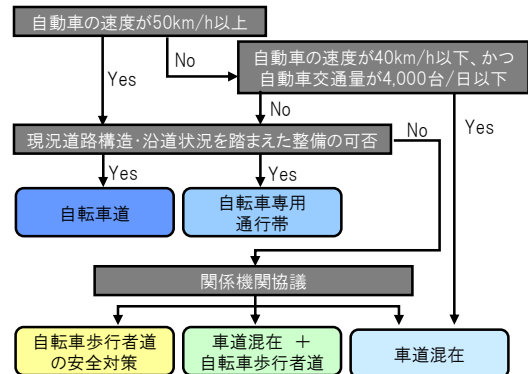
【選定結果】



(2) ネットワーク計画に選定した対象路線の整備形態

対象路線の選定された路線は、自動車交通量や現況道路構造、関係機関協議を踏まえ、矢羽根の整備による「車道混在」や自転車歩行者道の活用など、路線別に整備形態の検討を行いました。

【整備形態の考え方(フローチャート)】



【整備イメージ】



【車道混在】タイプ
車道の左側に自転車が行ける事を示す青い「矢羽根」をペイントする整備形態



【自転車歩行者道の安全対策】タイプ
自転車歩行者道に自転車が行けるスペースと歩行者が歩くスペースを視覚的に示す整備形態

【路面表示・案内板】

路面表示		案内板	
ルート案内	方向誘導	距離表示	方向誘導板
幅=0.75m以上 長さ=1.50m以上	幅=0.25m 長さ=2.0m	幅=0.25m 長さ=2.0m	幅=0.2m 長さ=1.2m
幅=0.75m以上 長さ=1.50m以上	幅=0.25m 長さ=2.0m	幅=0.25m 長さ=2.0m	幅=0.2m 長さ=1.2m
幅=0.75m以上 長さ=1.50m以上	幅=0.25m 長さ=2.0m	幅=0.25m 長さ=2.0m	幅=0.2m 長さ=1.2m

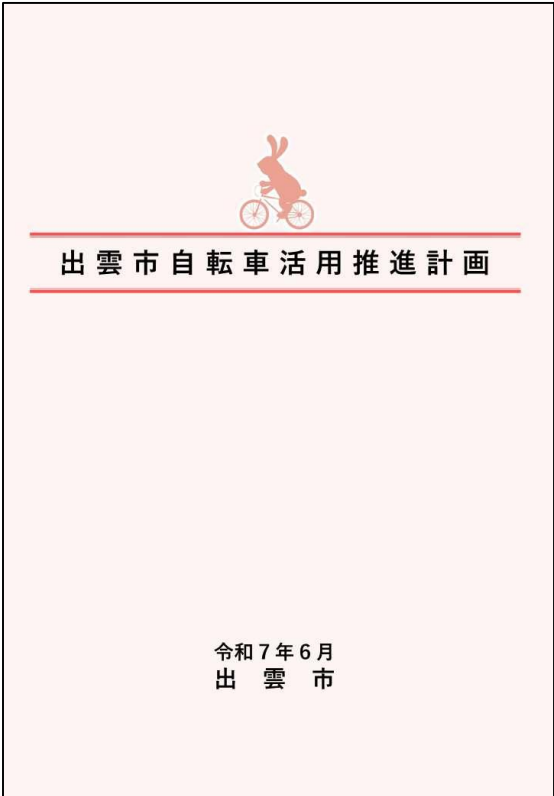
6. 計画のフォローアップ

本計画の基本方針を実現するには計画の着実な推進が必要であり、推進状況をモニタリングするため数値目標を設定しました。計画期間最終年である令和11年度の数値目標を設定することで達成度合いをチェックします。また、令和9年度の間時点においても適宜指標値を確認し、目標値の再設定を予定しています。

(1)計画の達成状況確認のための数値目標

基本方針	指標	現況値		目標値	
		指標値	年	指標値	年
快適で利用しやすい自転車環境まちづくり	①自転車ネットワーク計画の整備率	16%	R6年度	60%	R11年度
	②自転車利用時の快適性	38%	R6年度	45%以上	R11年度
自転車利用による心身ともに健康な社会づくり	③自転車を活用した健康づくりへの興味	43.8%	R6年度	50%以上	R11年度
サイクルツーリズムによる観光地域づくり	④年間レンタサイクル利用台数	2,550台	R5年度	2,700台	R11年度
	⑤年間シェアサイクル利用台数	未実施	R6年度	2,200台	R11年度
	⑥年間サイクリングツアー実施件数	未実施	R6年度	6件	R11年度
自転車事故のない安全・安心な暮らしづくり	⑦自転車事故発生件数	31件/年	R1～R5平均	25件/年未満	R7～R11平均
	⑧ヘルメット着用率	7.5%	R6年度	35%以上	R11年度
	⑨自転車利用時の安全性	37.2%	R6年度	45%以上	R11年度
	⑩自転車利用者のルール・マナー	24.1%	R6年度	30%以上	R11年度

(2)出雲市自転車活用推進計画の表紙と目次



IZUMI

目次

第1章 計画策定の趣旨4

1.1 計画策定の背景4

第2章 自転車を取り巻く現状・環境6

2.1 自転車に関する全国的な動向6

2.2 出雲市における現状16

2.2.1 地域の概況16

2.2.2 自転車の利用状況21

2.2.3 健康に関する状況33

2.2.4 観光に関する状況35

2.2.5 安全・安心に関する状況45

2.3 自転車活用に当たっての問題点・課題49

第3章 自転車活用推進に向けた基本方針50

第4章 目指すべき将来像に向けた取組52

4.1 施策体系52

4.2 取組概要53

4.3 自転車ネットワーク計画65

4.3.1 対象エリアの設定65

4.3.2 対象路線の選定67

4.3.3 整備形態の選定74

4.3.4 サイクリングロード78

第5章 計画のフォローアップ80

5.1 計画推進の目標80

5.2 計画の推進体制81

巻末資料82